



各位

国分グループ本社(株)、シンガポールでコモンウェルスグループと物流事業に関する合弁会社を設立

国分グループ本社(株) (本社：東京都中央区、代表取締役会長 CEO：國分勘兵衛) は、シンガポールの Commonwealth Capital Pte Ltd (本社：シンガポール、代表者：Andrew Kwan、以下「CCPL」) との間で、シンガポールにおける低温食品物流事業を展開する合弁会社の設立に関し、下記の通り合弁契約を締結しましたので、お知らせいたします。

記

1. 目的

当社は、第10次長期経営計画において海外事業の「基幹」事業化を掲げており、アセアン事業はその柱の一つです。中でもシンガポールは経済発展に伴い食品物流の高度化が加速する有望な市場です。また、アセアンエリアにおける交通、経済、物流、情報等の中心地であり、当社グループが事業展開しているマレーシア、ベトナム、ミャンマーのアセアン事業の中核地と位置づけ、進出を計画しておりました。

一方、CCPL は、シンガポールにおいて製パン・精肉・デリカ・アイスクリーム等の食品製造事業、パスタチェーン、ベーカリーチェーン等の外食事業、並びに低温食品物流事業等、食品のバリューチェーン構築を中心に多角的な経営を行っている企業グループです。

今般、物流事業に関する効率化・高度化による一層の企業価値向上を目指す同社と合弁会社を設立し、シンガポールにおける低温食品物流事業を共同で進めていくことで合意いたしました。

2. 合弁会社の概要

1) 事業展開

合弁会社は、CCPL 傘下で低温食品物流事業を展開する Commonwealth Food Services Pte Ltd (以下、「CFS 社」) より物流事業の移管を受け、事業を開始いたします。(移管後の CFS 社は CCPL グループの不動産管理部門として事業を継続します。) その後、CCPL グループの事業運営ノウハウと当社グループの物流運営ノウハウを融合し、シンガポール国内の外食事業者・小売事業者等の物流業務を受託することで事業拡大を目指します。

2) 会社概要

商号： Commonwealth KOKUBU Logistics Pte Ltd

所在地： シンガポール

事業内容： 低温食品物流事業 (保管・配送・納品)

資本金： 10,001,400 シンガポールドル (※ 当社による出資・株式引受後)

事業移管日： 2018年12月1日

出資比率： CCPL70.0% 国分グループ本社30.0% (※ 当社による出資・株式引受後)

売上高： 29,287千シンガポールドル (2017年12月期) (※ CFS の2017年12月期売上高)
(約2,430百万円 ※ 1シンガポールドル=83円)

3. スケジュール

2018年12月6日 株主間契約締結

2018年12月14日 (予定) 株式引受実行

以上